●●●●施設名　　大津波浸水想定

①津波到達時間（１㎝）: ●●分

②基準水位 :　●.●m

③避難場所 : ●●●●　　 ●階

（参考時間のため、津波がより早く来る可能性に留意すること。）

津波時の避難確保計画(ひな形)

【医療施設】

●●●●(施設名)

20●●（令和●●）年●●月

担当者:

連絡先:　電話

　　　　メール　　　　　　　@

－目次－

[1. 計画の目的・報告 1](#_Toc486269027)

[2．計画の適用範囲 1](#_Toc486269028)

[3．防災体制 2](#_Toc486269029)、3

[4．情報収集及び伝達](#_Toc486269030) 4

[5．避難誘導](#_Toc486269031) 5、6

[6．避難の確保を図るための施設の整備 7](#_Toc486269032)

[7．防災教育及び訓練の実施 7](#_Toc486269033)

【添付資料（釧路市への提出は不要）】

■施設利用者緊急連絡先一覧表

■緊急連絡網

■外部機関等への緊急連絡先一覧表

■対応別避難誘導方法一覧表

■防災体制一覧表

# 1. 計画の目的・報告等

《記載例》

* この計画は、津波防災地域づくりに関する法律第７１条第１項に基づくものであり、本施設の利用者の津波時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。
* また、作成した避難確保計画に基づき、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、津波に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じて計画を見直していくものとする。
* 計画を作成及び必要に応じて見直し、修正したときは、遅滞なく、当該計画を釧路市長へ報告する。

# 2．計画の適用範囲

《記載例》

* この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

【施設の状況】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 構造  (該当するものに  チェックを入れる） | □木造  □非木造 | | 階数 | 階建て | | 使用階 | | |  |
| 利用者 | 昼 | ●名 | | 夜間 | ●名 | | 休日 | ●名 | |
| 施設職員 | ●名 | | ●名 | | ●名 | |

* 計画の見直し

避難訓練の結果や社会情勢の変化に伴い、定期的に見直すものとする。

# 3．防災体制

《記載例》

* 防災体制確立の判断時期に基づき、注意、警戒、非常の体制をとり、管理権限者が定めた統括管理者のもと、情報収集伝達要員、避難誘導要員が避難誘導等の活動を行う。

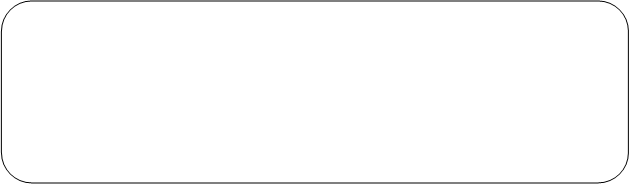
【防災体制確立の判断時期及び役割分担】

**① 津波到達時間が短い場合**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 体制 | 体制確立の判断時期 | 活動内容 | 対応要員 |
| 注意体制  の確立 | ・緊急地震速報 | 津波情報等の情報収集 | 情報収集伝達要員 |
| ・北海道・三陸沖後発地震注意情報 | 備蓄・避難体制の確認 | 避難誘導要員 |
| 警戒体制  の確立 | ・津波注意報の発表 | 津波情報等の情報収集 | 情報収集伝達要員 |
| 使用する資器材の準備 | 避難誘導要員 |
| 入院者保護者・家族等への事前連絡 | 情報収集伝達要員 |
| 周辺住民への事前協力依頼 | 情報収集伝達要員 |
| 非常体制  の確立 | ・避難指示の発令  ・津波警報、大津波警報  （津波特別警報）の発表  ・危険の前兆を確認（注1） | 施設内全体の避難誘導 | 避難誘導要員 |

※上記のほか、施設の管理権限者の指揮命令に従うものとする。

※判断時期は、津波の場合では、避難情報は必ずしも発令されない場合があるので、地震の大きさ等により自主的な判断に基づき体制を確立することも必要である。

(注１)市町村による避難指示（緊急）の発令が間に合わない場合もあるため、強い揺れ又は長時間ゆっくりとした揺れを感じた場合、気象庁の津波警報等の発表や市町村長からの避難指示（緊急）の発令を待たずに自発的かつ速やかに立ち退き避難をすることが必要である。

注意体制

　　　　　　　　　　…災害モードへの気持ちの切り替え。気象情報等の収集を行う。

警戒体制

　　　　　　　　　…避難場所へ避難する準備を行う。

非常体制

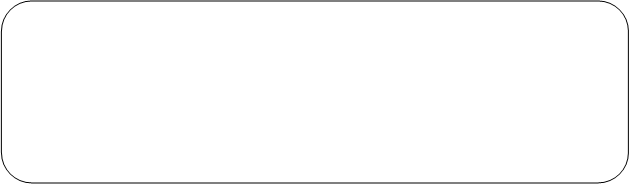
　　　　　　　　　…避難誘導を開始する。

**② 津波到達時間が長い場合**（遠地での地震）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 体制 | 体制確立の判断時期 | 活動内容 | 対応要員 |
| 注意体制  の確立 | ・緊急地震速報  ・津波注意報発表  ・遠地地震に関する情報 | 津波情報等の情報収集 | 情報収集伝達要員 |
| 警戒体制  の確立 | ・津波警報の発表  （浸水エリア外の場合） | 津波情報等の情報収集 | 情報収集伝達要員 |
| 使用する資器材の準備 | 避難誘導要員 |
| 入院者保護者・家族等への事前連絡 | 情報収集伝達要員 |
| 周辺住民への事前協力依頼 | 情報収集伝達要員 |
| ・高齢者等避難の発令 | 要配慮者の避難誘導 | 避難誘導要員 |
| 非常体制  の確立 | ・避難指示の発令  ・津波警報の発表  （浸水エリア内の場合）  ・大津波警報（津波特別警報）  　の発表  ・危険の前兆を確認 | 施設内全体の避難誘導 | 避難誘導要員 |

※上記のほか、施設の管理権限者の指揮命令に従うものとする。

※判断時期は、津波の場合では、避難情報は必ずしも発令されない場合があるので、地震の大きさ等により自主的な判断に基づき体制を確立することも必要である。



注意体制

　　　　　　　　　　…災害モードへの気持ちの切り替え。気象情報等の収集を行う。

警戒体制

　　　　　　　　　…避難場所へ避難する準備を行う。

非常体制

　　　　　　　　　…避難誘導を開始する。

# 4．情報収集及び伝達

《記載例》

* 1. 情報収集
* 収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 収集する情報 | 収集方法 |
| 地震情報、津波情報  北海道・三陸沖後発地震注意情報 | テレビ、ラジオ、気象庁ホームページ、北海道防災メールなど |
| 避難情報（高齢者等避難、  避難指示、避難所開設など) | テレビ、ラジオ（ＦＭくしろ　76.1MHz）、釧路市ホームページ、釧路市防災メール、釧路市Webハザードマップ、LINEなど |

* 停電時は、ラジオ、タブレット、携帯電話を活用して情報を収集するものとし、これに備えて、乾電池、バッテリー等を備蓄する。
* 提供される情報に加えて、天候、施設周辺の水路や道路の状況、斜面に危険な前兆が無いか等、施設内から確認を行う。

1. 情報伝達

* 別紙●「施設内緊急連絡網」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、地震情報、津波情報等の情報を施設内関係者間で共有する。
* 避難する場合には、別紙●「施設利用者緊急連絡先一覧表」に基づき、入院者の保護者・家族等に対し、「●●●●（避難場所）へ避難する」旨を連絡する。

※ただし、連絡行為については津波到達時間が長いなど時間的に可能な場合に限る。以下も同様。

* 避難の完了後、災害の状況に応じて可能な限り、釧路市健康推進課（連絡先）に避難が完了した旨を連絡する。
* 避難の完了後、別紙●「施設利用者緊急連絡先一覧表」に基づき、入院者の保護者・家族に対し、避難が完了した旨を連絡する。

# 5．避難誘導

《記載例》

避難誘導については、次のとおり行う。

* 1. 避難場所
* 避難場所は下表のとおりとする。
  1. 避難経路
* 避難場所までの避難経路については、別紙１「避難経路図」のとおりとする。
* 避難場所については避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

①立ち退き避難の場合

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 名称 | | 避難場所 | | 移動手段 |
| 津波警報３m※ | ●●●●●●●  □【指定緊急避難場所】 | | ●●階 | | 徒歩・階段 |
| ※３m津波浸水区域内に施設がある場合に記入する。 | | | | | |
|  | 名称 | | 避難場所 | | 移動手段 |
| 大津波警報 | ●●●●●●●  □【指定緊急避難場所】 | | ●●階 | | 徒歩・階段 |
|  | | | | | |
|  | | 名称 | | 避難場所 | 移動手段 |
| 大津波警報 | | ●●●●●●● | | ●●階 | 徒歩・階段 |
| ②垂直避難の場合※ | | | | | |
|  | 名称 | | 避難場所 | | 移動手段 |
| 大津波警報 |  | | ●●階  ●階フロアライン :　 ●.●m | | 徒歩・階段 |

　※施設の避難場所の高さが基準水位よりも高く屋内安全確保が可能であり、必要な備畜品がある場合のみ記入する。

施設の避難する階と、その階のフロアラインを記入する。

【別紙１　施設周辺の避難経路図】

　避難場所、避難経路は以下のものとする。

【避難経路図】

|  |
| --- |
|  |

# 6．避難の確保を図るための施設の整備

《記載例》

* 情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する施設及び資器材については、下表「避難確保資器材等一覧」に示すとおりである。
* これらの資器材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。
* 利用者にあわせた器具や食事の提供が必要となる場合がある。避難場所での生活に必要な備品などに配慮する。

避難確保資器材等一覧

|  |  |
| --- | --- |
| 活動の区分 | 備蓄品 |
| 情報収集・伝達 | □テレビ、□ラジオ（FMくしろ　76.1MHz）、□タブレット、  □ファックス、□携帯電話、□懐中電灯、□電池、□携帯電話用バッテリー |
| 避難誘導 | □名簿（従業員、利用者等）、□案内旗、□タブレット、□携帯電話、  □懐中電灯、□携帯用拡声器、□電池式照明器具、□電池、  □携帯電話バッテリー、□搬送具、□ライフジャケット、□蛍光塗料 |
| 施設備蓄・  非常持ち出し品 | □水（１人あたり●ℓ）、□食糧（１人あたり●食分）  □寝具、□防寒具 |
| □おむつ・おしりふき  □体温計、□マスク、□消毒液、□ハンドソープ、□使い捨て手袋、  □ビニールエプロン、□嘔吐処理具、□ウエットティッシュ、□ゴミ袋、  □常備薬、□消毒薬、□包帯・絆創膏、□タオル、□簡易トイレ |
| 医療器具 | □点滴セット、□注射器、□●●●● |
| 処方箋 | □●●●● |
| そのほか | □  □ |

# 7．防災教育及び訓練の実施

《記載例》

* 毎年４月に新規採用の従業員を対象に研修を実施する。
* 毎年５月に全従業員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。
* ５月の訓練を実施した後、釧路市へ報告書を４月実施分とまとめて提出する。

【添付資料】

**釧路市への提出は不要**

■施設利用者緊急連絡先一覧表

《記入例（既存のものがあればそれを活用）》

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設利用者 | | | 緊急連絡先 | | | | その他（緊急搬送先等） |
| 氏名 | 年齢 | 住所 | 氏名 | 続柄 | 電話番号 | 住所 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

■緊急連絡網

《記入例（既存のものがあればそれを活用）》

**釧路市への提出は不要**

|  |
| --- |
| 氏名 |
| 連絡先（電話番号） |

↓

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） |

↓　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　↓

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） |

↓　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　↓

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） |

↓　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　↓

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） |

↓　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　　↓　　　　　　　　　　↓

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） | 連絡先（電話番号） |

■外部機関等への緊急連絡先一覧表

《記入例（既存のものがあればそれを活用）》

**釧路市への提出は不要**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 連絡先 | 担当部署 | 担当者氏名 | 電話番号 | 連絡可能時間 | 備考 |
| 避難誘導等の支援者 |  |  |  |  |  |
| 医療機関 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

■対応別避難誘導方法一覧表

**釧路市への提出は不要**

《記入例（既存のものがあればそれを活用）》

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対応内容（※） | 氏名 | 連絡先 | 移動手段 | 担当者 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※以下の該当番号を記入

（避難場所への移動）

１　単独歩行が可能、２　介助が必要、３　車いすを使用、４　ストレッチャーや担架が必要、５　そのほか

（そのほかの対応）

６　自宅に帰宅、７　病院に搬送、８　そのほか

■防災体制一覧表

《記入例（既存のものがあればそれを活用）》

**釧路市への提出は不要**

管理権限者　●●●●

統括管理者の代行者

●●●●

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 総括・  情報班 | 役職及び氏名 | 任　務 |
| 班長　●●●●  班員●名  　●●●●  ・・・ | * 自衛消防活動の指揮統制、状況の把握、情報内容の記録 * 館内放送等による避難の呼び掛け * 洪水予報等の情報の収集 * 関係者及び関係機関との連絡 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 避難誘導班 | 役職及び氏名 | 任　務 |
| 班長　●●●●  班員●名  　●●●●  ・・・ | * 避難誘導の実施 * 未避難者、要救助者の確認 |